



平成 28 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社富士通ビー・エス・シー  
 代 表 者 名 代表取締役社長 小 島 基  
 (コード 4793 J A S D A Q)  
 問 合 せ 先 広報 I R 室長 中 村 昭 生  
 (電 話 03-3570-3481)

当社の親会社名 富士通株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 田 中 達 也  
 (コード番号 6702 東証、名証各第 1 部)

## 連結業績予想と実績値の差異および 個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 10 月 27 日に公表した平成 28 年 3 月期連結業績予想と本日公表の実績において差異が生じたのでお知らせいたします。また、個別業績における前年実績値との差異についても併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想と実績値の差異について

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 32,400	百万円 0	百万円 △40	百万円 △2,400	円 銭 △203.39
今回実績値 (B)	31,850	106	113	△2,248	△190.55
増減額 (B-A)	△549	106	153	151	
増減率 (%)	△1.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	31,498	1,049	986	2	0.19

#### (差異の理由)

当社は、平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日) において、多額の不採算プロジェクトが発生したことから、アシュアランス機能の一層の拡充と社員の意識改革に努めてまいりました。その結果、売上高については受注段階からのリスク管理を強化したこと等から予想値に比べ若干の減少となりましたが、営業利益、経常利益については何れも予想値を上回る結果となりました。また、親会社株主に帰属する当期純損失についても圧縮することとなり、概ね予想値どおりの結果となりました。

#### 2. 通期個別業績の前期実績値との差異について

平成 28 年 3 月期通期個別業績と前期実績値との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (平成 27 年 3 月期)	百万円 31,264	百万円 1,090	百万円 1,022	百万円 28	円 銭 2.42
当期実績 (B) (平成 28 年 3 月期)	31,423	184	194	△2,215	△187.75
増減額 (B-A)	159	△905	△828	△2,244	
増減率 (%)	0.5	△83.0	△81.0	—	

#### (差異の理由)

平成 28 年 3 月期 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日) の個別業績は、大型の不採算プロジェクトが発生したことに伴い営業利益および経常利益は前期実績に比べ大幅に減少する結果となりました。更に、繰延税金資産の取崩しを行ったことから、親会社株主に帰属する当期純利益 (損失) についても前期実績を大幅に下回る結果となりました。

なお、本日、平成 28 年 3 月期決算短信 (連結) を公表しておりますので併せてご参照ください。

以上